

平成29年度動物愛護週間事業実施報告

国が定めた動物愛護週間（9月20日～26日）には、国、地方自治体、関係団体が協力して動物の愛護に関する普及啓発のための様々な行事が実施されている。平成29年度動物愛護週間事業として、浜田保健所では「動物愛護展～いのち～」を開催した。

1. 日時、場所

- (1) 日時 平成29年10月7日（土） 9時～16時
- (2) 場所 ゆめタウン江津 1F 入口付近
（江津市嘉久志町2306番地30）

2. 主催等

- (1) 主催 島根県浜田保健所
- (2) 協力団体 江津市、浜田市、島根県獣医師会浜田支部、ゆめタウン江津
- (3) 参加者 浜田保健所 3名
江津市 市民生活課 2名

3. 来場者数 約200人

4. 事業実施内容

(1) 展示内容

「動物愛護展～いのち～」では、保健所へやってくる犬と猫が、人と同じいのちを持っているにもかかわらず、殺処分されている現状を多くの方へ知ってもらう内容とした。さらに今年度は高齢化社会における人とペットとのかかわり方や災害が起きた時ペットと一緒に避難する上で大切な事を知ってもらうような内容を設けた。

展示物

- ① 島根県の犬猫引取処分状況等
- ② 高齢化者がペットを飼う際に気を付けること
- ③ もしも災害が起こったら、ペットと避難する事を考えよう
- ④ 環境省動物愛護ポスター
- ⑤ 動物遺棄の現状と終生飼養
- ⑥ ネコとの暮らしを考えよう
- ⑦ 飼い主募集中の犬の紹介(写真、スクリーン映像)

（展示物は以下のとおり）



①島根県の犬と猫の引取り処分状況等



②高齢者がペットを飼う際に気を付けること
⑤動物遺棄の現状と終生飼養



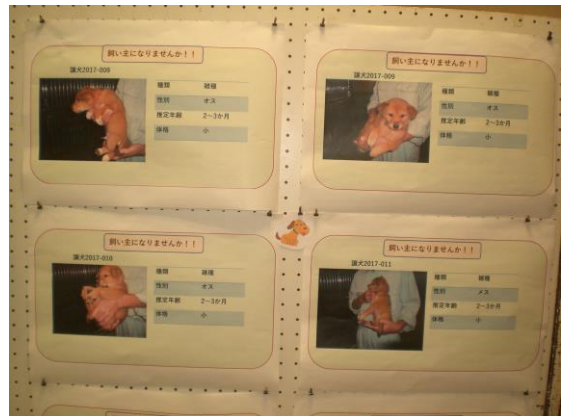
③もしも災害が起こったら、ペットと避難する事を考えよう



④環境省動物愛護ポスター



⑥ネコとの暮らしを考えよう



⑦飼い主募集中の犬の紹介(写真)



⑦飼い主募集中の犬の紹介(スクリーン)

(2) 新しい飼い主に育てられて

昨年度浜田保健所から譲渡した動物達が、新しい飼い主に育てられている写真を展示した。また、飼い主のペットに対するコメントも記載した。

(展示物は以下のとおり)



(3) 実施状況

展示物に対する、様々な意見をもらった。特に来場者の中には保健所が譲渡した動物達のその後の生活写真を見て、保健所では殺処分ではなく、積極的に譲渡に力を入れている事を初めて知ったという意見をもらった。また、譲渡後にもその動物の様子を確認するために訪問する旨を伝えたところ、動物愛護の推進について今後も継続して行く旨の意見をもらった。

(4) その他

- ① 来場者アンケートの実施
- ② 犬、猫等の飼育に関するパンフレット配布

会場の様子



4. まとめ

多くの方に展示物を見てもらうために、動物に関するクイズを来場者に配布した。このクイズは会場内で答えが分かるようになっており、子供たちがクイズの答えを探している間、保護者は展示物を興味深そうに見て、時折保健所職員に展示内容の質問をしていた。また、来場者がいつでも質問できるように保健所職員を会場に常置させたので、島根県の動物愛護に対する考え方を直接伝えるいい機会になった。そして、啓発展示物以外にも現在保健所で譲渡可能な動物を紹介しており、動物がスクリーン上で動いている姿を映し出すことで、動物も一つの命をもっており、改めて命の大切さを感じてもらえる内容とした。

来場者アンケートでは、今回の動物愛護事業についての感想をもらい、「飼う前にきちんと世話ができるかよく考えようと思った」という意見や「避妊・去勢されてない猫に餌をあげることが結果的にかわいそうな命を増やすことにつながるとは思わなかった」という意見があった。今回の展示内容を通じて動物愛護を考える良い機会を持ってもらったと感じた。

さらには動物の可愛らしさや命の大切さが伝わる展示だったという意見もあり、保健所に収容された犬や猫が処分されることがなく、新しい飼い主の元で暮らせるように PR をこれからも行ってほしいという要望などもあった。このようなご意見ご要望をもとに、浜田保健所では今後も動物愛護の普及に努め、動物と人が共生できるよりよい社会づくりを目指す所存である。

平成29年10月
島根県浜田保健所